

JAグループ 山形 県農林水産祭に協賛「米消費拡大を」 食農の大切さPR

【山形】JAグループ 第68回県農林水産祭に協賛し、食と農、JA事業に県民理解を促すイベントを開いた。自己改革の中で取り組む情報発信強化運動の一環。



「シャカシャカおにぎり」作りを体験する親子（13日、山形県天童市で）

で、エコバックなどが当たった。

県農協青年組織協議会は、県産米「はえぬき」のポン菓子を作る舞って米の消費拡大をPR。食農教育の取り組みをパネルで紹介した他、手作り看板コンクールへの投票を呼び掛けた。

県JA女性組織協議会は、コップにご飯を詰め、シャカシャカ振るだけで簡単にできる「シャカシャカおにぎり」作りのコーナーを設置。親子連れが、デビューしたばかりの県産米「雪若丸」のおにぎり作りを楽しんだ。

農林水産祭には、農畜産物や加工、木製品販売など100を越すブースが並んだ。14日まで。

JA全中提唱の「みんなのよい食プロジェクト」やJAに関するクイズを通して、食と農業の大切さやJAの総合事業、准組合員制度への理解を求めた。回答者には抽選